

2023 年度 教育水準向上支援事業自己評価報告書

2024 年 5 月 31 日

宗教学法人泉バプテスト教会附属 いづみ幼稚園

1 本園の教育目標

自（じ） 自由と自治 子どもたちの自由と子どもたちによる自治を大切に
然（ねん） 自然に対する神の然り 子どもたちと被造世界の多様性を大切に

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 1 園庭遊び 安全に過ごしながら“遊びこむ”ことに力を入れる
- 2 絵本読み聞かせ 豊富な蔵書と読み聞かせにより豊かな心を育む
- 3 ICT ツールの充実 コロナ下における家庭との信頼関係の構築
- 4 カプラ 積み木を使って創造力や集中力、忍耐力を育む
- 5 園外保育 野外での保育活動の充実
- 6 地域への情報発信 積極的に情報を発信し、地域に根差した保育を提供する
- 7 運動 運動会にむけて競技の練習を重ね、体を動かすことを楽しむ
- 8 クリスマス クリスマス前一个月的視聴覚教材を用いての保育の充実

3 評価項目の達成及び取り組み報告

	評価項目	評価	取り組み報告
1	園庭遊び 2023 年 4 月-2024 年 3 月	A	“真剣に遊ぶ”、“遊びこむ”ことに重点を置いた。危ないから、汚れるからなどの理由で制限を設けるのではなく、子どもたちが自由に遊びを展開できるように見守った。マテバシイの木を中心に組まれた遊具での遊び、砂遊び、木登りなど、樹々や草花との触れ合いを通して、体を動かすことや仲間と交流する楽しさを実感できた。このような子どもたちの園庭遊びの安心と安全を守るため、業者に草木の剪定や砂場の整備を依頼した。その際、庭木が腐敗していないか、害虫が居ないかなどの点検も依頼した。
2	絵本読み聞かせ 2023 年 4 月-2024 年 3 月	A	各クラスで1日に2-3冊の絵本を教師が朗読し、時には園外保育先にも絵本を持ち出して自然の中で朗読するなど読む環境にも工夫を取り入れた。絵本の部屋には2000冊ほどの蔵書があり、

			子どもたちの想像力や他者を思いやる心を育む。こどものとも社より絵本を新規購入、また古くなった絵本を再度購入し入れ替えた。クリスマスや学期末には子どもたちにプレゼントするための絵本も購入した。こどものとも社の職員を招き、保護者向けに読み聞かせの大切さについての講演を実施した。
3	ICT ツールの充実 2023年4月-2024年3月	A	新型コロナウイルス感染症に対応するため、連絡ツールアプリ「コドモン」を利用することで家庭と園、園内の教職員の連絡が円滑になった。また、写真の販売・購入や預かり保育の予約も当アプリで完了するため、より業務が効率化し、教職員の事務作業も大幅に短縮された。さらに保護者が父母の会や分級、講演会にZOOMで参加できるようになり、様々な連絡事項を再度伝える必要がなくなった。このような“コロナ下”というコミュニケーションが希薄になりやすい環境でも、相互的な情報共有がスムーズに成されることで園と家庭間の信頼関係をより強くすることができた。
4	カプラ 2023年4月-2024年3月	A	日頃から「カプラブロック」という積み木を使って遊び、創造力や集中力、忍耐力を育んだ。また仲間と協力して1つの作品をつくり上げることで、コミュニケーションの楽しさ、協調性を学ぶことができた。5月17日にはインストラクターを招き、年長組親子を対象にワークショップを開催、普段の保育では作ることが難しい大掛かりな作品を完成させることができた。保護者は、作品を作り上げる過程で、自分の子どもだけでなく他の家庭の子供とも関わり成長を見守ることができた。当園で日頃から大切にしている“みんなでみんなを育てる”ことが実現されたと言える。
5	園外保育 2023年4月-2024年3月	A	園庭を含めた園内の保育にとどまらず、園外に出かける行事を頻繁に実施した。日頃から世田谷公園や野沢公園、東山公園など様々な公園に

			<p>足を運び、仲間と共に長距離を歩くことに親しんだ。公共交通機関を利用した園外保育としては、5月12日・11月10日高尾山登山（年長組）、9月6-8日名栗キャンプ場宿泊（年長組）、10月13日高尾山登山（年中組）、10月20日碑文谷公園（全クラス）、2月8-9日新潟県にて雪とふれあう宿泊保育（年長組）などが挙げられる。以上、5月19日に行われた親子遠足以外の園外保育には保護者は同行せず、教職員と子どもたちのみで過ごし、子どもたちの自律心を大いに育むことができたと考えている。また、登山や名栗キャンプ場宿泊ではアウトドア専門のスタッフに同行を依頼し、その土地で暮らす動物や植物についての知識も深めることができた。子どもを見る大人が増えたこともあり、より安全な園外保育を実施することができたと言える。</p>
6	<p>地域への情報発信</p> <p>2023年4月-2024年3月</p>	A	<p>幼稚園ホームページの作成、維持・管理を委託し、より内容の充実したホームページへとリニューアルした。園の基本情報の他に、アンケートで集めた保護者の声、行事が多いことが特色である園の年間予定などを載せた。園のメールやInstagramにもアクセスしやすい画面を作成し、入園を考えているご家庭には園生活がより想像しやすいものになったと考えている。またInstagramでは、地域に向けて当園の特色ある保育内容や保育を進める上で大切にしていることをわかりやすく発信し、子育ての情報を提供することができた。</p>
7	<p>運動会</p> <p>2023年9-10月</p>	A	<p>10月7日の運動会当日に向けて、9月12日、14日、19日、21日、26日、28日の計6回「運動会ごっこ」を実施した。世田谷公園や駒繫公園まで足を運び、バルーン体操や竹馬、ダンスなど競技の練習を重ねた。室内では跳び箱や鉄棒の練習も実施した。失敗しても再度挑戦する諦めない心や団結力を育んだ。自分の出場競技</p>

			以外の時間も、他者の競技の応援をするなど、仲間を支える姿も見られた。運動会当日は、在園児とその家族だけでなく、卒園生や未就園児とその家族、来賓も多く訪れ、全員で体を動かすことや応援することに力を注いだ。サポートをしてくださったの方々の協力もあり、安全でスムーズな競技進行を実現できた。
8	クリスマス 2023年11-12月	A	クリスマス（12月15日年少組・年中組クリスマス、12月16日年長組クリスマス）までの4週間、毎週礼拝（11月24日、12月1日、8日）を実施してクリスマス当日を待ち望んだ。モミの木や松の枝が香るリースやクランツを飾ったり、キャンドルに炎を灯したりして、五感を用いてクリスマスの意義を体得し、イエス・キリストの誕生を祝った。各クラスでページェント（キリスト誕生の様子を描いた劇）に向けて歌や台詞を練習、親子で手作りのプレゼントを用意し、贈り物を交換し合う喜びや楽しさを知った。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4 総合的な評価結果

A	<p>全般的に当初の計画通りに事業を実施することができ、それぞれの目標に到達できたと考える。</p> <p>園庭遊びでは、日常的に安全な園庭環境で遊びこむことができ、子どもたちの好奇心や仲間との関係性を育むことができた。</p> <p>絵本の朗読についても元々力を入れていた本園ではあるが、蔵書を増やし園外保育先で朗読するなどの工夫を続けたことから、子どもたちの興味や関心を広げることができた。</p> <p>ICT ツールの充実により、事務的な作業が大幅に短縮された他、コロナ下であっても家庭との連携を密にとることができた。</p> <p>カプラブロックの制作では、一つの作品を作り上げる過程で集中力や創造力、協調性を体得することができた。</p> <p>仲間と共に出かけた園外保育では、五感を使って自然を満喫することができた。ホームページやインスタグラムでの情報発信に力を入れ、地域に園の特色を広</p>
---	--

	<p>めることができた。</p> <p>運動会に向けて練習を重ね、体を動かす喜びを仲間と分かち合うことができた。</p> <p>クリスマスは生の木を用いたリースやクランツの匂いや美観から、イエス・キリストの生誕を鮮明に記念し待望することができた。</p>
--	---

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園外活動における専門性の確保	アウトドアキャンプや山登りなどの行事について外部の専門業者への業務委託をすることで、より安全に過ごすことができ活動の幅も広がった。今後も継続する。
2	創造的な保育の創出	子どもを真ん中・前面に据え、子ども自身の意思や発案をくみ取るように心がける。正規の教職員を増員したことが良かった。教職員の間で多角的な意見を交換し合い、保育内容が充実したことに手ごたえを感じるため今後も継続する。